

特集

〈事例〉

パンフレットやデータベースで 就業マッチングの最適化を図る

公益社団法人
豊島区シルバー人材センター

(東京都)

豊島区SCは、センターで受注している仕事の情報を網羅した「就業紹介パンフレット」を作成。就業場所や配分金、就業会員の写真等を掲載しており、新入会員や未就業会員への情報提供のほかセンターのイメージを変えることにもつながっている。また、会員の詳しい経歴や所有資格等の情報を収集し人材データベースを構築、会員と発注元事業者のマッチングの効率化・最適化に効果を上げている。

就業紹介パンフレット 作成のきっかけ

豊島区SCは令和6年度、「就業紹介パンフレット」(以下、パンフレット)を作成・発行した。パンフレットでは、センターで受注しているほぼ全ての仕事を紹介している。

センターでは、公平に就業機会を提供するためにワークシェア(分かち合い就業)を推進しており、その一環として就業適正化(5年ルール)に取り組んできた。これは、5年以上同じ就業先で就業している会員は、別の会員がそこでの就業を希望した場合にその会員と交代しなければならないという

ものだ。令和5年度までは、5年ルールを希望者の多い就業先に限定して適用していたが、公平を期すために全ての就業先を対象とすることとなった。

一方、方針の変更に当たり、会員から「そもそもセンターでは、どんな仕事を受けていて、どんな就業先があるのか分からないため、希望する仕事を見つけにくい。全ての仕事を公開してほしい」という声が上がった。

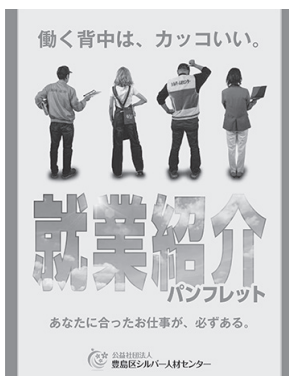
就業情報は週1回、センターのホームページや所定の設置場所に掲載するほか、ショートメッセージを使って会員に共有しているが、情報は就業先に空きが出た場合や新規案件に限られているため、セ

ンターで受けている仕事の全容を会員に知らせる手だてがこれまでなかった。会員は見通しが立たないまま、希望する仕事の求人を探すしかなく、それがやがて仕事への意欲をそぐことになり、退会の原因にもなっていたと考えられる。そこで、受注している仕事の情報を網羅したパンフレットがあれば、会員が関心を持てる仕事を見つけやすくなると考え、「就業紹介パンフレット」を作成することとなった。

受注している仕事を 詳しく紹介

パンフレットは、A4版、34ページ、オールカラー。センターで

「就業紹介パンフレット」(表紙)



受注している仕事を、「公共の仕事」「民間の仕事」「派遣の仕事」「その他の仕事」の四つに分類し、1ページにつき1〜2つずつ紹介している。始めの2ページでは、センターの概要や仕事紹介までの流れなどを案内し、センターのことを知らない人でも理解できる構成にした。

情報として掲載しているのは、発注者(「その他の仕事」は除く)、就業場所、就業内容、就業日、就業日数、就業時間帯、1日の就業時間、配分金で、シンプルな色使いに大きめの文字、就業中の会員の写真・感想のスペースを大きく取った誌面となっている。表紙に

は「働く背中が、カッコいい。」「あなたに合ったお仕事が、必ずある。」のキャッチフレーズと共に会員の後ろ姿の写真をあしらひ、興味を引くようなデザインに仕上げた。

パンフレットの作成に当たった担当者は「見やすいこと、現場の様子が伝わりやすいことを意識しました。また、気軽に楽しく仕事ができるイメージを持つてもらえるようなパンフレットを目指して編集しました」と話す。

現場を訪ねて情報を収集

パンフレットの作成に向けて、令和6年2月ごろから当時の常務理事兼事務局長と担当職員で構想を練り始め、作業工程を検討。同年4月から掲載情報の収集などに当たり、同年10月、完成に至った。曾根田豊次長は「パンフレット作成時にセンターで受けていた仕事は、ほぼ全て掲載しています。ちょうど新しく職員が入職したところだったので、勉強を兼ねて現

場を訪問して就業会員などの情報を集めてもらいました」と話す。

こうして、発注者に承諾を得たりアポイントを取ったりするところから、会員のインタビューや撮影、掲載情報の確認まで、完成に向けて準備を進めていった。

予定では、情報収集は1か月ほどで終えたいと考えていたが、日程の調整がなかなか付かない就業先もあるなど、思いの外、時間を要したという。

曾根田次長は「製作に携わった職員はもとより、発注者や取材に応じてくれた会員の皆さん、印刷会社など、多くの人の協力によりパンフレットが出来上がりました」と振り返る。

退会抑制にも効果を発揮

パンフレットは全会員に配布したほか、ハローワークや区内図書館・社会教育施設にも閲覧用として配った。さらに、区内に128ある町会・自治会全てに3部ずつ

配布した。すると、「町会・自治会の加入者に宣伝したい」と、20部、30部と追加で欲しいという要望を受けたという。

また、区の監査を受けた際、代表監査委員にパンフレットの紹介をしたところ、「都内に58あるセンターで、このようなものを見た記憶はない。素晴らしい取り組みだ」との評価を受けた。代表監査委員は、公益財団法人東京しごと財団(東京都SC連合)で理事長を務めた経歴を持つ。

製作に携わった清水拓主任は「パンフレットを作ったことで、センターで受けている仕事を余すところなく会員に伝えられるようになりました。これにより、会員も自分の働き方についてイメージしやすくなり、さらに前向きな気持ちでセンターと関わってもらえればと考えています。実際に、最近希望する仕事がないという理由で退会する会員は少なくなっています。センターの仕事というと、清

自転車駐車場管理



大塚駅前自転車駐車場

就業場所
常駐(池袋駅東、池袋駅南、池袋駅北、大塚駅南、要町駅南、千川駅南、千川駅北第一、椎名橋、登録受付(センター1階))
非常駐(池袋駅周辺、ワイロード、北池袋、大塚駅北口周辺、神田川第一登録制、東池袋登録制、要町駅周辺、千川駅周辺、新大塚駅路上、下板橋)

就業内容
定期更新手続き、当日利用受付、自転車整理、案内 等

就業日
月～日曜日/シフト制

就業日数
週3日程度

就業時間
6:00～19:00
(駐輪場によって異なる)
※一部駐輪場は4:00開始

1日の就業時間
5時間程度

配分金
1,165円/時間

※早朝など時間帯によって割増あり



会員の声

多くの利用者の方と接するので、やりがいのある仕事です。
グループ就業で新たな友達ができました。就業先の仲間と顔を合わせるのも仕事に行く楽しみの一つです。
就業時間が長く、日数も多いところが自分に合っています。

区民集会室管理



長崎第四区民集会室

会員の声

パソコン操作に戸惑うこともありますが、分からないことは、同じ就業の仲間やシルバースタッフ事務局に確認しながら業務を行っています。地域の方や利用する若い方とのふれあいが新鮮で楽しいです。体力的にも負担が少なく、気に入っています。

就業場所
区民集会室10カ所(巣鴨第三、北大塚、東池袋第四、池袋本町第二、雑司が谷、高田第二、目白第二、長崎第四、長崎第五、千川)

就業内容
パソコンによる予約受付、利用案内、日常清掃、ゴミ出し、施設の鍵開閉 等

就業日
月～日曜日/年末年始を除くシフト制

就業日数
月10日程度

就業時間帯
8:30～22:30

1日の就業時間
2～6時間

配分金
【朝・昼】1,113円/時間
【夜】1,134円/時間



区民ひろば貸室管理



区民ひろば富士見台

会員の声

様々な方が利用されるため、新しい情報を知ることができたり、色々な方とお話できて楽しいです。夜間の就業なので、昼間の予定を済ませて就業できるのが助かります。

就業場所
区民ひろば20カ所(仰高、駒込、南大塚、清和第一、清和第二、西巣鴨第一、朋有、豊成、上池袋、池袋本町、池袋、南池袋、高南第一、高南第二、目白、椎名町、富士見台、千早、高松、さくら第一)

就業内容
貸室利用受付、鍵の開閉、貸室利用後の片付け及び清掃 等
※利用がある場合のみ就業

就業日
月～日曜日/シフト制

就業日数
月5回程度

就業時間帯
17:10～21:40
(延長の場合22:10まで)

1日の就業時間
4.5時間
(延長の場合あり)

配分金
5,103円/回

「就業紹介パンフレット」の仕事紹介ページ。「公共の仕事」「民間の仕事」「派遣の仕事」「その他の仕事」に分けて、掲載している

人材データベースを構築

令和6年度、センターでは、も

掃や駐輪場の管理をイメージする人が多いですが、このパンフレットで、センターでは多様な仕事を受けていることや、一口に清掃といっても、公園や図書館、喫煙所など就業先はさまざま、具体的な作業内容もそれぞれ違うことが分かってもらえると思います。ハローワークにも設置してもらったので、仕事を探している人に『センターの会員になると、こんな仕事ができるんだ』と興味を持ってもらえるのではないのでしょうか」と話す。

会員からは「このパンフレットに載っている仕事は今もありますか」といった問い合わせを受けるほか、「この仕事をしてみたい」という声がかかるという。

センターでは今後、2年に1回ほどの頻度でパンフレットを改訂していきたいと考えている。

う一つ新たな取り組みを行った。労働者派遣事業の受注を増やす方策として、人材データベース「会員キャリアデータベース」を構築完成させたのだ。

これまで、会員の経歴については、入会時に本人が記入する「会社員」「自営業」「営業」「事務」といった簡単な情報のみ得ており、センターでは会員の経験や所有している資格について正確に把握していなかった。そのため、会員のキャリアを企業等にアピールして就業機会を開拓するといったことができずにいた。さらに、会員からも「キャリアを生かした仕事に就きたい」との要望が寄せられていた。こうした課題に対応するために、会員の経験や実績を詳しく調査して、人材データベースを構築することになったという。

人材データベースの構築に向けて、令和5年度からデータの収集を始めた。収集に用いる調査票では、回答すべきことが会員に明確

は、入会時に本人が記入する「会社員」「自営業」「営業」「事務」といった簡単な情報のみ得ており、センターでは会員の経験や所有している資格について正確に把握していなかった。そのため、会員のキャリアを企業等にアピールして就業機会を開拓するといったことができずにいた。さらに、会員からも「キャリアを生かした仕事に就きたい」との要望が寄せられていた。こうした課題に対応するために、会員の経験や実績を詳しく調査して、人材データベースを構築することになったという。



写真左から豊島区SCの曾根田豊次長
清水拓主任

に伝わるよう工夫して質問項目を設定し、記入例も示した。その上で、全会員に対して、これまで働いてきた企業の分野や職種、役職担当業務、所有している資格、趣味・特技、自身が持つ経験や資格を仕事に生かしたいかどうかを尋ねた。その結果、当時の会員1560人のうち約600人から回答を得た。うち、「経験を生かしたい」と回答したのは約100人だった。回答のほとんどが手書きだったため入力の手間はかかったが、調

査票を工夫して作成したことで、作業をスムーズに進められたという。こうして、令和6年5月、「会員キャリアデータベース」が完成した。人材データベースを構築したことで、発注者の要望に対応できる会員の選定やマッチングが容易になったという。

同時にセンターでは、労働者派遣事業拡大に向けて会員の強みを

アピールするため、人材データベ
ースを基に「人材パンフレット」
を製作した。人材パンフレットに

は、会員5人に了承を得た上で、それぞれの経歴や所有している資格、得意な分野などを似顔絵と共に

[illegible]

労働者派遣事業拡大に向けて作られた「人材パンフレット」。会員のキャリアを掲載することで、訴求力を高めた

に掲載した。

人材パンフレットは、公益社団法人豊島法人会をはじめとする区内商工団体などに配布したほか、ハローワーク、としまビジネスサポートセンターなど、区内の事業者が集まる場所に配架を依頼した。人材パンフレットを介して仕事の依頼が数件あり、問い合わせも寄せられているという。

会員数が過去最大に

「就業紹介パンフレット」と「会員キャリアデータベース」の二つの取り組みを進めた結果、令和6年度の会員数は前年度より98人増え、過去最大の1658人となった。中でも女性会員の増加が顕著で、家族割引制度の導入や「ミモザ委員会（女性委員会）の活動も、女性会員の拡大の助けになったと考えられる。

曾根田次長は「商店街のイベントに参加することがきっかけとなり仕事の依頼を受けるなど、地域

事業運営状況

(令和2年度～令和6年度)

年度	会 員 数			粗入 会率	就 業 実 人 員 (延人員)	就 業 率	受 注 件数	契 約 金 額	公 民 比
	男性	女性	全体						
	人	人	人	%	人 (人日)	%	件	千円	%
令和 2	991	571	1,562	2.2	1,269 (173,196)	81.2	2,801	720,542	55.3/44.7
3	996	586	1,582	2.2	1,190 (173,605)	75.2	2,805	738,793	56.1/43.9
4	990	608	1,598	2.3	1,194 (173,816)	74.7	2,842	750,664	53.7/46.3
5	952	604	1,560	2.2	1,206 (168,905)	77.3	2,719	775,074	54.0/46.0
6	965	693	1,658	2.3	1,267 (166,551)	76.4	2,598	802,705	54.7/45.3

※受注件数、就業延人員、契約金額は請負・委任と労働者派遣事業を合計した数値

※就業実人員は請負・委任と労働者派遣事業が対象 ※就業延人員は労働者派遣事業の教育訓練受講を含む

※令和5年度以降は性別未回答の会員がいるため、会員数の男女計と全体は必ずしも一致しない

との結び付きが就業機会の拡大につながったケースもあります。今後はボランティア活動などにも力を入れ、地域とのつながりをより大切にしていきたいと思つています」と語った。

(増山美智子)